

## 令和7年度 保護者等からの事業所評価 集計結果（公表）

事業所：ララスマイル 事業：放課後等デイサービス 公表日：令和7年11月 保護者等数：50 回収率：76%

チェック項目			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動スペースが十分に確保されていますか。	36	1	0	1		子どもが成長して体も大きくなり、場面によっては狭く感じることもある。部屋の割り振りや活動人数等の工夫によって、適切な環境を整えていきます。
	2	職員の配置数や専門性は適正ですか。	36	0	0	2		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化（※1）された環境や、特性に応じた配慮が適切になされていると思いますか。	36	0	0	2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境や、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	37	0	0	1		
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	38	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	37	0	0	1		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が分析された上で、個別支援計画が作成されていると思いますか。	38	0	0	0		
	8	「本人支援」「家族支援」「移行支援」の支援内容から必要な項目が適切に設定され、支援内容が設定されていると思いますか。	37	0	0	1		
	9	個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	38	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラム（※3）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	36	1	0	1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	14	8	2	14		近隣の児童クラブとの交流の機会を設けていることもありますが、回数も少なく、情報発信も不足しているため、今後交流の機会を増やしたいと思います。

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37	0	0	1		
	13 「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	37	1	0	0		
	14 家族に対して家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	26	5	2	5		先日はアンケートのご回答ありがとうございました。現在交流の機会を検討しています。年齢層も幅広くどういった形がいいか引き続き検討していきます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	37	1	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	37	1	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	38	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者や兄弟同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされていますか。	15	8	3	12		先日はアンケートのご回答ありがとうございました。現在交流の機会を検討しています。年齢層も幅広くどういった形がいいか引き続き検討していきます。
	19 相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、周知・説明され、迅速かつ適切に対応されていますか。	38	0	0	0		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	38	0	0	0		
	21 定期的に文書やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する評価結果等の発信されていますか。	32	1	0	5		全体に向けた、定期的な情報発信については不足していると感じていますので、皆様に適切な情報提供をしていけるようにしてまいります。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	36	0	0	2		

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	23 緊急時や感染症についての対応等について、保護者に周知・説明されていますか。	37	○	○	1		
	24 事業所では、事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応等のマニュアルが策定され、保護者に周知・説明や訓練がされていますか。	36	○	○	2		訓練の様子などについてもLINE等を通して、情報発信をしていきたいと思います。
	25 こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	37	○	○	1		
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	34	○	○	4		事故等があった場合は、個別に速やかに連絡、必要な対応を取らせていただいている。引き続き、皆様に安心してご利用いただけるよう努めてまいります。
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	38	○	○	○		子どもにとって安心を感じていただけていることが何よりうれしく思います。安心をベースに前向きな心を育んでいけるよう引き続き取り組んでまいります。
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	36	1	○	1		
	29 事業所の支援に満足していますか。	38	○	○	○		

\*この「保護者等からの事業所評価 集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

## 令和7年度 事業所による自己評価結果（公表）

事業所：ララスマイル 事業：放課後等デイサービス

公表日：令和7年11月

回答数 10

チェック項目			はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等スペースとの関係で適切であるか。	6	3	1		子どもが成長して体も大きくなり、場面によっては狭く感じることもある。部屋の割り振りや活動人数等の工夫によって、適切な環境を整えていく。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	3	0	基準人員以上配置している。状況に応じて柔軟な配置を行っている。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境や、特性に応じた環境上の配慮が適切になされているか。	7	3	0	統一した表示の他、個々に合わせた配慮を心掛けている。	本人の自立に向けた、必要な調整・配慮を個々に応じて、適切に考えていく必要がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	0	業務分担し、日々の環境調整を行っている。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	0	個別スペースを設けている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	2	0	事前打ち合わせと、振り返りの時間を大切にしている。	記録のつけ方など、評価の部分をより効果的に行うこと目標に、記録の見直し、適切な評価・周知が行える仕組みを整えていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	0	日々の打ち合わせの他、全員参加の職員会議で、必ず業務改善の視点で意見を求めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2	2		現時点では第三者評価は実施を考えていないが、必要に応じて法人として検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	0	外部研修の他、定期的に内部研修を実施。振り返り研修も行い、継続した取り組みを行っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	0		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	9	1	0	定期的な面談や学校との情報共有、様々な活動をとおしてのアセスメントを踏まえて行っている。	
	13	個別支援計画を作成する際には、児発管だけでなく、関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	2	0	「本人の願い」を中心に、なぜこの内容なのかを共通理解できるよう話し合いをしている。	

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	14 個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	2	1		十分な理解と実施に向けた、周知・確認・評価の流れを記録のつけ方と共に見直しを行っていく。
	15 標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、インフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	3	0		必要な情報を取得していくためのアセスメントの取り方については工夫が必要。インフォーマルなアセスメントについて研修と実施を行う。
	16 「本人支援」「家族支援」「移行支援」の支援内容から必要な項目が適切に設定され、支援内容が設定されているか。	9	1	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	1	0		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	1	0	子どもからアンケートをとるなど、子どもの興味を踏まえた活動を提供できるようにしている。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	1	0		年齢が上がるにつれての個別活動の在り方について再度検討が必要。将来を見据えた活動の機会を増やしていく。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	0		
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0	0		
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	0		必要な情報と支援の評価両面で、適切な内容の記録がとれるよう、研修を実施する。
	23 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	2	0		モニタリング時期に関わらず、子どもの状況に応じて、見直し変更を行っていけるよう、評価方法と支援会議の日常化を徹底する。
	24 放課後等ティーサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	10	0	0		
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0	0		意識している点ではあるが、より将来像など本人と家族と共にしながら、自己決定支援に力を入れていきたい。

チェック項目			はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	0	児発管だけでなく、必要に応じ他の支援者も同行している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	1	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	1	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	1	0	利用前に保育園や児童発達支援事業所には必ず訪問している。	
	30	学校を卒業し、放課後等ティーサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	0	0	情報提供書としてまとめている。必要に応じてアフターフォローも行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	2	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	3	1	近隣の学童との交流の機会を設けている。	回数が少なく、内容についても検討する必要がある。地域のイベントには積極的に参加していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10	0	0		
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	1		面談の機会に限らず、子どもの状況に応じて事業所側から積極的に発信していく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラムや家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	2	0		必要性を感じ準備しているが、対象や方法について、有効な方法を模索している。まずは対象者を絞って、実践を積み上げていく。
保護者への説明責任等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	1	0		
	37	子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	1	0	子どもとの1対1での対話を大切に、日々定期的な時間を設けている。	子どもの願いについて確認する機会を今まで以上に増やし、本人の意向を汲み取る工夫や自己決定支援を大切にしていく。
	38	個別支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等ティーサービス計画の同意を得ているか。	10	0	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	0		
	40	父母の会の活動の支援や、保護者や兄弟同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。	5	4	1		『35』同様に、保護者同士の交流の機会を実践していく。

チェック項目			はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	1	0		
	42	定期的に文書やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する評価結果等の発信されているか。	8	1	1	LINEにより、情報提供することで速やかな連絡につながっている。	活動の様子や支援に関する情報等を定期的に発信していく方法を検討・実施していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	1	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	1	0	視覚的に提示できるものを必要に応じて用意している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	6	1		地域の広報誌などに事業所の紹介をしているが、招待などは行っていない。利用する方の個人情報に配慮しながら、どういった取り組みができるか検討していく。
非常時等の対応	46	事業所では、事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応等のマニュアルが策定され、保護者に周知・説明や訓練がされていますか。	10	0	0	訓練実施後は、様子を玄関にはり出すなど、内容を周知している。	全体に知らせることができるよう、一斉送信などの方法も検討していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	1	0	指示に基づき、ミスがないようダブルチェック体制をとっている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	1	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	2	0		周知が十分とはいえない。継続して情報発信をしていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	6	3	1		

## 令和7年度 ララスマイル 事業所による自己評価総括表（公表）

保護者評価実施期間：令和7年10月6日～11月7日 対象者数：50 回答数：38 従業者評価実施期間：令和7年10月6日～10月20日 対象者数：10 回答数：10

自己総括表作成日：令和7年11月21日 公表日：令和7年11月30日

	事業所の強みだと思われること (より強化・充実を図ることが期待されること)	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小・中・高・社会人と成長を見据えた支援提供	ライフステージに合わせた事前学習として、体験する機会を設定。法人内事業所とも連携して、見学や体験の機会につなげている。	実生活につながる社会体験を得られる工夫。
2	資質向上に向けた取り組み	外部研修の他、内部研修の機会を大切にしている。研修で学んだことを現場で活かせるよう、振り返り研修を踏まえ継続的に行うようにしている。	学ぶ機会の範囲と回数を増やしていく。他の事業所など横のつながりで、学び合える機会なども検討していく。
3	保護者との相談機会の提供	連絡帳や本人のチェック表等を用いて、状況把握と共通認識をもてるようにしている。 連絡帳のコメントやご家族の表情など、気になることがある場合はすぐに声をかけるようにしている。	悩みや相談事がある場合は、いつでも対応できることを引き続きお伝えし、相談しやすい環境を整えていく。

	事業所の弱みだと思われること (事業所の課題や改善が必要だと思われること)	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援の不足（保護者同士の交流の機会）	個々の特性や年齢が幅広く、どういった対象者でどのような形での開催が良いかを悩み開催が遅れていた。アンケートを実施することにより、希望ニーズも把握できてきたため、今後の定期開催につなげていく。	対象者を絞って、特に希望の多い内容について開催していくとともに、気軽に横のつながりをもてるような形で交流の機会を設けていく。
2	屋外での活動や地域交流の機会が少ない	行事や外出活動は長期休暇時が中心。個々の状況や発達段階に合わせて必要な機会を提供したいが、時間や体制等によって実現できていない。	早上がりの機会を活かし活動を組み立てる。個々の状況や発達段階に合わせて、少人数での必要な社会体験の機会や地域交流の活動メニューを増やす。ご利用者の希望も聞きながら、児童クラブとの交流も検討していく。
3	お迎え時の混雑（玄関・駐車場）	お迎え時間が重なっている。帰りの支度に時間がかかったり、相談等に応じて話が長くなってしまい、人が滞留してしまう。	余裕をもって、引継ぎ・引き渡しができるよう、保護者と相談のうえお迎え時間をずらす工夫を行う。また、日課や活動時間の見直しを行い、帰り支度の流れに余裕がもてるようにする。

